

第22号

2022年 3月31日

発行 石川県柔道連盟

編集 広報委員会



県柔連会長
上田 重隆

北信越選手権大会、県勢奮闘再びの快挙!!

全日本柔道選手権大会(男・女)4名出場

まず初めに、今なお続く新型コロナウイルス感染症と新たな変異株に、そして刻々と変化する状況に日々奮闘されておいでる関係各位の皆さんに心より敬意を表します。

本年度の北信越柔道選手権は新型コロナウイルス感染症対策のもと石川県立武道館で開催されました。各所属共に十分な練習環境とは言えない中、県警察官を除いての大会ではありましたが、男子では中村拓郎(金沢学院大4年)、中川直治(金沢刑務所)、女子では橋高朱里(金沢学院大教)、辻なる(津幡高3年)選手が優勝、準優勝と県勢が上位を独占し、男子2名、女子2名が全日本柔道選手権、女子選手権大会に出場権を得たことは大変な快挙であり、全日本選手権大会での健闘を大いに期待するものであります。

さて現在、コロナ感染拡大防止に配慮し、新しい生

活様式に則した形での活動を求められ、現場では様々な取り組みがなされています。今この状況下でこの時期だから出来ることを見つめ直す機会でもあり、変更実施に取り組むことも必要と考えます。

いま全柔連でも提唱している『人づくり、人間教育としての柔道』を考えると、指導者は競技力の向上のみならず、相手を敬い、礼節を重んじる心、柔道を通して多くの魅力をより多くの人々へ伝えるとき、柔道はどのような役割を担っているのか、より良い柔道の姿を今一度確認し実践することを強く求められます。

心身を磨き高め、それにより世に補益する人材を育成するという、柔道本来の目的のために、柔道初心者も現役選手や指導者自身も生涯柔道を心掛けている方々も、形や段階は違えど成長する喜びを生涯にわたり知ることが柔道の尊い価値を広く啓発し、柔道発展に繋がることを信じてやみません。

大会成績

< 小学生 >

第18回 全国小学生学年別柔道大会石川県大会

6/13 松任総合運動公園文化体育館啓武館

男子個人	小学5年	45kg級	優勝	川端 健介(窪田柔道倶楽部)
	小学5年	45kg超級	優勝	吉田 寛智(鶴来道場)
	小学6年	45kg級	優勝	釜谷爽太郎(輪島柔道教室)
	小学6年	65kg級	優勝	酒井 政佳(邑知少年柔道教室)
	小学6年	65kg超級	優勝	古谷周太郎(窪田柔道倶楽部)
女子個人	小学5年	40kg級	優勝	竹田 朱那(全日本柔道少年団七尾分団)
	小学5年	40kg超級	優勝	生田 彩恵(内灘町少年柔道教室)
	小学6年	40kg級	優勝	大西 碧(松任柔道スポーツ少年団)
	小学6年	55kg級	優勝	中島 美月(邑知少年柔道教室)
小学6年	55kg超級	優勝	吉野 真桜(邑知少年柔道教室)	

第18回 全国小学生学年別柔道大会 8/29 大阪府堺市立大浜体育館 中止

第41回 全国少年柔道大会 10/23、24 東京・講道館 中止

第46回 石川県少年少女柔道大会

11/14 石川県立武道館

※新型コロナウイルス感染症対策のため、今大会は、団体戦のみ実施

団体一部	優勝	松任柔道スポーツ少年団	2位	鶴来坂田道場
	3位	輪島柔道教室	3位	邑知少年柔道教室
団体二部	優勝	全日本柔道少年団小松分団	2位	鶴来道場
	3位	かほく市少年柔道教室	3位	犀川柔道教室
団体三部	優勝	田中錬正塾	2位	加賀聖武館少年柔道教室
	3位	津幡町少年柔道教室	3位	志賀町少年柔道教室
個人	小学生、中学生の部 中止			

第42回 全国少年柔道大会石川県予選大会 3/13 石川県立武道館 中止

〈 中 学 生 〉

令和3年度 石川県中学校体育大会 第64回 石川県中学校柔道大会

7/17~18 石川県立武道館

男子団体 優勝 高尾台中 2位 笠間中 3位 内灘中 3位 北辰中	女子団体 優勝 高尾台中 2位 北辰中 3位 笠間中 3位 中能登中
男子個人	女子個人
50kg級 優勝 山根 凧知(笠間中)	40kg級 優勝 大西いろは(笠間中)
55kg級 優勝 北野慎之祐(中能登中)	44kg級 優勝 三崎せれな(北辰中)
60kg級 優勝 村 一刀斎(高尾台中)	48kg級 優勝 寺井 咲希(邑知中)
66kg級 優勝 野中 海心(北辰中)	52kg級 優勝 坂 明音(笠間中)
73kg級 優勝 野澤 貴哉(高尾台中)	57kg級 優勝 西 結穂(笠間中)
81kg級 優勝 浅田 峻輔(内灘中)	63kg級 優勝 堀 紗羅葉(北辰中)
90kg級 優勝 寺下 仁悠(高尾台中)	70kg級 優勝 藤本 春菜(笠間中)
90kg超級 優勝 室木 陽幸(北鳴中)	70kg超級 優勝 廣江 清葉(高尾台中)

第16回中学生柔道錬成石川大会

12/4 松任総合運動公園体育館柔道場 中止

第21回石川県中学生新人柔道大会

2/5 松任総合運動公園体育館柔道場 中止



〈 高 校 生 〉

令和3年度 第29回石川県高等学校春季柔道大会

4/25 石川県立武道館

男子団体 I 部 優勝 津幡 A 2位 津幡 B 3位 鶴来 A 3位 鶴来 B
優秀選手 川口 敬志(津幡) 澤口 塔生(津幡) 井海 晴天(鶴来) 石川 大真(鶴来)
男子団体 II 部 優勝 羽咋 2位 小松大谷 3位 羽咋工業 3位 金沢桜丘
女子団体 優勝 津幡 A 2位 津幡 B 3位 金沢学院大附属 A 3位 金沢学院大附属 B
優秀選手 辻 なる(津幡) 桑原 心胡(津幡) 池田 真彩(金沢学院大附属) 田淵古都和(金沢学院大附属)

第42回北信越中学校総合競技大会 柔道競技

8/3 アルビス小杉総合体育センター

男子団体 優勝 高尾台中学校	女子団体 優勝 高尾台中学校
男子個人	女子個人
50kg級 3位 山根 凧知(笠間中) 3位 倉又 權(北辰中)	48kg級 3位 黒宮 美咲(御幸中) 3位 寺井 咲希(邑知中)
55kg級 2位 北野慎之祐(中能登中) 3位 皆森 翼沙(高尾台中)	52kg級 3位 坂 明音(笠間中) 57kg級 3位 大河内結衣(高尾台中)
60kg級 優勝 村 一刀斎(高尾台中)	63kg級 優勝 堀 紗羅葉(北辰中)
66kg級 優勝 野中 海心(北辰中) 2位 丸田 大道(高尾台中) 3位 國本 宙良(北辰中)	70kg級 3位 渡辺 杏樹(内灘中) 3位 藤本 春菜(笠間中)
73kg級 優勝 野澤 貴哉(高尾台中)	70kg超級 2位 廣江 清葉(高尾台中)
90kg級 2位 寺下 仁悠(高尾台中)	
90kg超級 3位 生田 恵樹(内灘中)	

令和3年度 石川県高等学校総合体育大会柔道競技

6/3~5 石川県立武道館

男子団体 優勝 津幡 2位 鶴来 3位 県立工業 3位 金沢桜丘	女子団体 優勝 津幡 2位 金沢学院大附属 3位 鶴来 3位 小松大谷
男子個人	女子個人
60kg級 優勝 井海 晴天(鶴来)	48kg級 優勝 山崎 吏乃(津幡)
66kg級 優勝 石川 大真(鶴来)	52kg級 優勝 松本 光里 (金沢学院大附属)
73kg級 優勝 南出 健楨(鶴来)	57kg級 優勝 北野 那美(津幡)
81kg級 優勝 伊藤 碩哉(鶴来)	63kg級 優勝 戸潤 望愛(津幡)
90kg級 優勝 安田 琢磨(津幡)	70kg級 優勝 辻 なる(津幡)
100kg級 優勝 生田勇次郎(津幡)	78kg級 優勝 安田 美友(津幡)
100kg超級 優勝 川口 敬志(津幡)	78kg超級 優勝 林 莉帆(津幡)

令和3年度 全国中学校体育大会 第52回 全国中学校柔道大会

8/22~25 ALSOKぐんまアリーナ

男子団体 高尾台中学校 予選リーグ (2勝0敗・予選リーグ突破) 5-0 大池 (三重) 4-0 香長 (高知) 決勝トーナメント 1回戦敗退 0-3 小野 (兵庫)	女子団体 高尾台中学校 予選リーグ (1勝1敗・予選リーグ敗退) 2-1 藤森 (京都) 0-2 九州学院 (熊本)
男子個人	女子個人
50kg級 山根 凧知(笠間中)1回戦敗退	40kg級 大西いろは(笠間中) ベスト8
55kg級 北野慎之祐(中能登中)2回戦敗退	44kg級 三崎せれな(北辰中)1回戦敗退
60kg級 村 一刀斎(高尾台中)2回戦敗退	48kg級 寺井 咲希(邑知中)3回戦敗退
66kg級 野中 海心(北辰中) ベスト8	52kg級 坂 明音(笠間中)2回戦敗退
73kg級 野澤 貴哉(高尾台中)3回戦敗退	57kg級 西 結穂(笠間中)2回戦敗退
81kg級 浅田 峻輔(内灘中)2回戦敗退	63kg級 堀 紗羅葉(北辰中)2回戦敗退
90kg級 寺下 仁悠(高尾台中)2回戦敗退	70kg級 藤本 春菜(笠間中)1回戦敗退
90kg超級 室木 陽幸(北鳴中)1回戦敗退	70kg超級 廣江 清葉(高尾台中)3回戦敗退

令和3年度 北信越高等学校総合体育大会柔道競技

6/18~20 新潟市豊栄総合体育館

男子団体 優勝 津幡	女子団体 3位 津幡
男子個人	女子個人
60kg級 2位 井海 晴天(鶴来)	52kg級 2位 清水 唯南(津幡)
66kg級 3位 石川 大真(鶴来)	57kg級 3位 北野 那美(津幡)
73kg級 2位 南出 健楨(鶴来)	63kg級 3位 戸潤 望愛(津幡)
100kg超級 優勝 川口 敬志(津幡)	70kg級 優勝 辻 なる(津幡)
	78kg級 2位 安田 美友(津幡)
	78kg超級 3位 林 莉帆(津幡)

令和3年度 全国高等学校総合体育大会柔道競技

8/8～12 長野市真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)

男子団体	津幡 2回戦敗退	女子団体	津幡 2回戦敗退
男子個人		女子個人	
60kg級	井海 晴天(鶴来) 3回戦敗退	48kg級	山崎 吏乃(津幡) 1回戦敗退
66kg級	石川 大真(鶴来) 3回戦敗退	52kg級	松本 光里(金沢学院大) 1回戦敗退
73kg級	南出 健楨(鶴来) 3回戦敗退	57kg級	北野 那美(津幡) 1回戦敗退
81kg級	伊藤 碩哉(鶴来) 1回戦敗退	63kg級	戸澗 望愛(津幡) 1回戦敗退
90kg級	安田 琢磨(津幡) 3回戦敗退	70kg級	辻 なる(津幡) 3位
100kg級	生田勇次郎(津幡) 2回戦敗退	78kg級	安田 美友(津幡) 1回戦敗退
100kg超級	川口 敬志(津幡) 1回戦敗退	78kg超級	林 莉帆(津幡) 2回戦敗退

〈 大 学 生 〉

北信越学生柔道優勝大会(男子70回 女子30回) 5/16 石川県立武道館

男子団体	女子団体
優勝 北陸大学 2位 金沢学院大学	女子5人制 優勝 金沢学院大学

全日本学生柔道優勝大会(男子70回 女子30回)

11/13・14 千葉ポートアリーナ

男子団体	女子団体
1回戦 北陸大 2-② 関西大	5人制 1回戦 金沢学院大 0-3 淑徳大
1回戦 金沢学院大 2-3 早稲田大	

令和3年度 石川県高等学校新人体育大会柔道競技

11/11～13 石川県立武道館

男子団体	女子団体
優勝 鶴来 2位 津幡 3位 県立工業 3位 金沢桜丘	優勝 津幡 2位 金沢学院大附属 3位 鶴来 3位 金沢桜丘
男子個人	女子個人
60kg級 優勝 千葉 柊哉(県立工業)	48kg級 優勝 山崎 吏乃(津幡)
66kg級 優勝 野澤 敦貴(津幡)	52kg級 優勝 清水 唯南(津幡)
73kg級 優勝 南出 健楨(鶴来)	57kg級 優勝 松永 実優(津幡)
81kg級 優勝 福田 悠真(鶴来)	63kg級 優勝 戸澗 望愛(津幡)
90kg級 優勝 前田力樹(小松大谷)	70kg級 優勝 桑原 心胡(津幡)
100kg級 優勝 小林 大希(鶴来)	78kg級 優勝 林 弘華(津幡)
100kg超級 優勝 松川 想良(鶴来)	78kg超級 優勝 林 莉帆(津幡)

北信越学生柔道体重別選手権大会(男子40回 女子33回)

10/30 石川県立武道館

男子個人	女子個人
60kg級 2位 林 尚弥(金沢学院大) 3位 谷崎 直規(金沢学院大)	48kg級 優勝 河辺 恵利(金沢学院大)
66kg級 優勝 中島 恒星(北陸大) 2位 徳田 歩純(北陸大)	52kg級 優勝 佐々木郁実(金沢学院大) 3位 小室 藍梨(金沢学院大)
73kg級 優勝 山崎 晃征(北陸大) 2位 菊池 諄弥(北陸大)	57kg級 優勝 吉田 果布(金沢学院大) 2位 深田 涼子(金沢学院大)
2位 北浦 亘征(金沢学院大) 3位 三上 蒼空(金沢学院大)	63kg級 優勝 前川菜央子(金沢学院大)
81kg級 優勝 大洞 立樹(金沢学院大) 2位 長原 侑生(北陸大)	70kg級 優勝 萩野 文香(金沢学院大)
3位 轟 浩輝(北陸大) 3位 本田 優真(北陸大)	78kg級 優勝 中森 華音(金沢学院大)
90kg級 優勝 吉岡 好誠(北陸大) 2位 河野 傳(金沢学院大)	
3位 川崎 弘斗(北陸大)	
100kg級 優勝 黒坂 雄大(金沢学院大) 3位 増村 哲平(金沢学院大)	
100kg超級 3位 小猿 崇裕(金沢学院大)	

令和3年度 第44回全国高等学校柔道選手権大会石川県大会

1/22～23 石川県立武道館

男子団体	女子団体
優勝 鶴来 2位 津幡 3位 県立工業 3位 金沢桜丘	優勝 津幡 2位 金沢学院大附属 3位 鶴来 3位 金沢桜丘
男子個人	女子個人
60kg級 優勝 千葉 柊哉(県立工業)	48kg級 優勝 山崎 吏乃(津幡)
66kg級 優勝 石川 大真(鶴来)	52kg級 優勝 清水 唯南(津幡)
73kg級 優勝 福田 悠真(鶴来)	57kg級 優勝 松永 実優(津幡)
81kg級 優勝 南出 健楨(鶴来)	63kg級 優勝 戸澗 望愛(津幡)
無差別級 優勝 小林 大希(鶴来)	無差別級 優勝 喜多なつみ(津幡)

令和3年度 第44回全国高等学校柔道選手権大会

3/20～21 日本武道館

男子団体	女子団体
鶴来 ベスト8(敢闘賞)	金沢学院大附属 2回戦敗退
男子個人	女子個人
60kg級 千葉 柊哉(県立工業) 3回戦敗退	48kg級 池田 真彩(金沢学院大附属) 2回戦敗退
66kg級 石川 大真(鶴来) 3回戦敗退	52kg級 清水 唯南(津幡) 2回戦敗退
73kg級 福田 悠真(鶴来) 1回戦敗退	57kg級 松永 実優(津幡) 2回戦敗退
81kg級 南出 健楨(鶴来) 3回戦敗退	63kg級 戸澗 望愛(津幡) 2回戦敗退
無差別級 小林 大希(鶴来) 1回戦敗退	無差別級 喜多なつみ(津幡) 不戦敗



全日本学生柔道体重別選手権大会(男子40回 女子37回)

11/25・26 千葉ポートアリーナ

男子個人	女子個人
60kg級	48kg級
大岡 京聖(北陸大) 不戦敗	河辺 恵利(金沢学院大) 1回戦敗退
66kg級	52kg級
寺本 祥稀(金沢学院大) 1回戦敗退	小室 藍梨(金沢学院大) 1回戦敗退
徳田 歩純(北陸大) 1回戦敗退	佐々木郁美(金沢学院大) 2回戦敗退
中島 恒星(北陸大) 2回戦敗退	57kg級
73kg級	吉田 果布(金沢学院大) 不戦敗
山崎 晃征(北陸大) 1回戦敗退	深田 涼子(金沢学院大) 1回戦敗退
岩見 倅汰(北陸大) 2回戦敗退	63kg級
81kg級	前川奈央子(金沢学院大) 1回戦敗退
長原 侑生(北陸大) 1回戦敗退	70kg級
大洞 立樹(金沢学院大) 1回戦敗退	萩野 文香(金沢学院大) 1回戦敗退
喜成 健斗(金沢学院大) 1回戦敗退	78kg級
宮崎 應輔(北陸大) 2回戦敗退	中森 華音(金沢学院大) 2回戦敗退
90kg級	
河野 傳(金沢学院大) 1回戦敗退	
高橋 駿介(金沢学院大) 2回戦敗退	
吉岡 好誠(北陸大) 2回戦敗退	
100kg級	
黒坂 雄大(金沢学院大) 1回戦敗退	
小宮 大倭(北陸大) 2回戦敗退	
室木 修幸(北陸大) 2回戦敗退	
100kg超級	
中村 拓郎(金沢学院大) 1回戦敗退	
小猿 崇裕(金沢学院大) 1回戦敗退	
岡田 龍馬(金沢学院大) 1回戦敗退	

北信越学生柔道体重別団体優勝大会

男子 優勝 金沢学院大	女子 優勝 金沢学院大
2位 北陸大	

全日本学生柔道体重別団体優勝大会(男子23回 女子13回)

12/8・9 ベイコム総合体育館

男子	女子
1回戦 金沢学院大 1-5 中央大	2回戦 金沢学院大 0-5 淑徳大学
1回戦 北陸大学 3-0 徳山大	
2回戦 北陸大学 2-3 慶應義塾大	

湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会

11/20・21 中止



< 一般 >

令和3年度石川県男女ジュニア柔道体重別選手権大会

5/2 石川県立武道館

男子個人	女子個人
60kg級 優勝 大岡 京聖(北陸大学)	48kg級 優勝 河部 恵利(金沢学院大学)
66kg級 優勝 石川 大真(鶴来高校)	52kg級 優勝 小室 藍梨(金沢学院大学)
73kg級 優勝 岩見 倅汰(北陸大学)	57kg級 優勝 北野 那美(津幡高校)
81kg級 優勝 本田 優真(北陸大学)	63kg級 優勝 渡辺 悠花(金沢学院大学)
90kg級 優勝 川崎 弘斗(北陸大学)	70kg級 優勝 辻 なる(津幡高校)
100kg級 優勝 生田勇次郎(津幡高校)	78kg級 優勝 中森 華音(金沢学院大学)
100kg超級 優勝 川口 敬志(津幡高校)	78kg超級 優勝 林 莉帆(津幡高校)

第58回石川県体重別柔道選手権大会 6/6 石川県立武道館 中止

令和3年石川県柔道選手権大会(令和2年度延期大会)

7/4 石川県立武道館

男子個人	女子個人
優勝 室木 修幸(北陸大学)	優勝 辻 なる(津幡高校)
2位 小宮 大倭(北陸大学)	2位 戸潤 望愛(津幡高校)
3位 川崎 弘斗(北陸大学)	
3位 中川 直治(金沢刑務所)	

第49回石川県社会人柔道大会

10/3 石川県立武道館

男子団体Ⅰ部 優勝 鶴来坂田道場A	2位 金沢自衛隊
男子団体Ⅱ部 優勝 鶴来坂田道場B	2位 鶴来道場

令和3年度石川県段別柔道選手権大会

11/28 石川県立武道館

段外の部 優勝 畑谷 裕樹(田中錬成塾)	式段の部 優勝 川口 敬志(津幡高校)
初段の部 優勝 福田 悠真(津幡高校)	参段の部 優勝 安田 太一(北陸大学)

令和3年度石川県柔道選手権大会・石川県女子柔道選手権大会

1/30 石川県立武道館

男子個人	女子個人
優勝 中村 拓郎(金沢学院大学)	優勝 橋高 朱里(金沢学院大学)
2位 北山 彰(石川県警察)	2位 辻 なる(津幡高校)
3位 澤 健志郎(石川県警察)	3位 前川菜央子(金沢学院大学)
3位 道場真之介(石川県警察)	

石川県柔道連盟ホームページ

HPアドレス

<http://www.judo-ishikawa.com>

大会結果、イベント、昇段審査報告を掲載

委員会報告

総務委員長 本出 正博

令和3年度の石川県柔道連盟の各種行事も、会員各位のご協力により無事終了できましたことに深く感謝申し上げます。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各事業においては感染対策を十分に行った上で行うことができましたが、一部の行事が中止になったことは誠に残念でなりません。来年度も、引き続き会員一丸となって、感染症対策等を十分に行い大会運営に取り組んで参りたいと思います。

さて、今後の当連盟の課題としては、競技人口の拡大と指導者育成が挙げられます。オリンピックで活躍した競技だからこそ、さらに競技の魅力を発信し、より多くの方々に興味・関心を持っていただき競技に触れてもらうようにしなければなりません。このような中、全日本柔道連盟の普及事業の取り組みで新規登録者優秀校に大聖寺実業高等学校が表彰されました。顧問の若林伸之先生におかれましては、高校からの新規部員募集に尽力していただき感謝申し上げます。

次に、指導者育成においてはそれぞれのカテゴリーでの育成が重要になります。現に中学校・高校の指導者不足は喫緊の課題です。柔道を経験した若者が指導者になって現場に帰ってくることはもちろん嬉しいことですが、中高においては、未経験の教諭であってもいろんな方面から協力してくれる方を増やしていくことも重要です。また、中学校においては地域の指導者・コーチが大切になってきます。

当連盟の競技力の向上も、この二点が大変重要に関わってくると思っています。これからも各委員会と連携・協力し、さらに発展していく連盟でありたいと思っております。今後ともご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

審議委員長 岡田 勝

昨年に引き続き新型コロナ感染拡大の影響で我慢の一年となってしまう中で昇段参加者の方々、そして関係役員の方々には多大なご協力を賜り心より感謝申し上げます。

加納師範は、柔道とは文章における、文法のようなもの。文章を書くときに文法の知識を必要とするが如く、乱取りと形の修業が必要であると。

現在は、一つの昇段に一つの形の取得が必要です。今こそ、乱取りと合わせて形の修業に励まれるのも一考かなと思います。

昇段・昇級は、柔道の修業をしていく上で大事な目標の一つにもなります。

生涯にわたって柔道に携わり、柔道を楽しみ柔道界発展のため頑張ってください。

今できる役割に微力ながらも全力で取り組んでいきたいと思っておりますので、変わらぬ、お力添えをよろしくお願い致します。

競技委員長 上野 純一

令和3年度においては、昨年度同様に新型コロナウイルス感染予防を徹底し各大会を開催しました。前年度からの延期大会（令和2年度石川県柔道選手権）を含む県柔連主管6大会のうち大会（体重別選手権）のみ新型コロナウイルス感染症拡大でやむを得ず中止となりましたが、その他の大会においては出場選手を午前・午後の部に分けての人数制限、試合時間の短縮、無観客等、コロナ対策を十分に行い無事開催することができました。

令和4年度においても終息が見えないコロナ禍において開催する大会では、県コロナ感染症対策委員会と連携を密にし、ガイドラインに沿って選手が安心して試合に集中できるように選手ファースト、安全第一で大会運営をしていきたいと思っております。皆様のご協力のほどをよろしく願います。

審判委員長 渡辺 直勇

令和3年度石川県柔道連盟が主催大会の試合については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防のため、審判活動も活発に出来ない状況でした。そのため、開催大会では審判員の人数を制限させて頂きました。幸い、各大会終了後には感染者の報告もなく終わることが出来ました。今年度は

東京オリンピックが終了してルールの変更がありました。4月からの県柔連が主催する大会から導入される予定です。また、「1審判審判」イヤホンの導入も定着して来ていると思います。審判員の方々については、さらなる審判技術レベル向上のために邁進くださりますようお願い申し上げます。最後になりますが、今年度ももちまして審判委員会委員長を退任することになりました。平成22年（2010年）から12年間の長期間、審判員等のご協力を賜りありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

安全指導委員長 山崎 圭子

コロナ禍の制限がある中で厳重な感染症対策を施して安全安心な大会や稽古を実施する、あるいはオンライン化した講習会で指導者の安全知識を深めていく。令和3年度は、柔道を継続していく環境を構築する基盤の年となりました。また、感染者が発生した場合は、適切で迅速な判断と指導をすることができました。指導者は、日々の健康観察と消毒作業などを見落とさないことや、段階的指導を必ず取り入れて重大事故を防ぐことが大切です。そして、柔道の安全性を確立していくためには、常に「見直し」で意識を高めていくことや、皆様の妥協しない姿勢が求められています。安全指導委員長として約5年間、また対策委員長として柔道により深く関わり学ぶことができたことを感謝申し上げます。皆様のご理解とご尽力を賜り誠にありがとうございました。今後も安全安心な柔道で、皆様の人生が豊かになりますことを心よりお祈り申し上げます。

形委員長 上濃 達朗

形委員会として現在年4回の形講習会をさせていただいておりますが、本年度もすでに1回中止となり、講習会参加者も少なく寂しく思っております。来年度以降は沢山の講習会の参加をお待ちしております。石川県形競技大会は、本年度も稽古納め中止となり武道館での開催はできませんでした。その為初めて、映像での競技大会を開催しました。映像審査では審査方法が難しく時間も必要となってくるため、小学生と中学生のみの対象とさせていただきましたが、来年こそは武道館で盛大に開ける事を期待しています。昨年度は北信越形競技大会でも優勝1組、準優勝2組と好成績を取める事が出来、来年度以降もよりよい結果を目指していきたいと思っております。

強化委員長 川端 健司

2021年度は東京オリンピックをはじめ、様々な規模・カテゴリーで大会が開催され、昨年度と比較して活躍の場が広がった1年となりました。石川県勢としてはインターハイ女子個人戦70kg級での3位入賞、全日本柔道選手権大会および全日本女子柔道選手権大会への出場（男女各2名）など、全国の舞台上で堂々たる戦いを披露しました。

一方、強化活動については小規模な実施にとどまり、未だ満足いく内容には到達できていない状況です。

2022年度は新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しながら、より多くの強化活動を実施できるよう努めたいと思っております。ご協力のほどよろしく願います。

指導普及委員長 麻井 正和

今年度も新型コロナウイルスの流行で公認指導員養成講習会が実施できるのか大変不安でしたが、多くの先生方のご協力のおかげで、全事業を無事に終えることができましたことに深く感謝申し上げます。さて、11月、12月に指導員養成講習会を実施し、C指導員12名、B指導員7名の合格、43名の先生方が資格更新を行いました。今年度も新規受講者以外はリモート受講で5～6講座受講という形式を取らせていただきました。リモート講習も浸透し、トラブルなく、意見交換もしっかりと行うことができました。今後も状況に応じた形で指導者講習会を実施し県全体の指導力向上を図りたいと思っております。みなさまのさらなるご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



インターハイ入賞 おめでとう!!



令和3年度全国高等学校総合体育大会
(インターハイ)柔道競技大会
女子70kg級 第3位

最後のインターハイ

津幡高校 辻 なる

私は、中学3年生の全国大会、女子個人70kg級で優勝することが出来ました。あの時の感動は今でも鮮明に覚えています。そのため高校でも全国優勝を成し遂げたいと考え、柔道の強豪校である津幡高校に入学しました。常に課題意識を持ち、その克服に向け、厳しい練習に取り組んできました。充実した練習をすることができましたが、心配もありました。コロナの影響でいくつも全国大会が中止され、このまま卒業するまで大会が開催されないのではないかと不安が大きかったです。そのような中、高校最後のインターハイが開催され、全国の大舞台で試合ができたことに、まずは幸せを感じ、開催していただけたことにとても感謝しています。



そして、インターハイでは、女子個人70kg級3位という結果でした。再度全国での優勝が目標でしたので、悔しい結果にはなりましたが、これまで勝ったことのない

かった相手に対し、延長戦の末に僅差で勝つことができて、中学時代の自分より少し成長できたことを実感できたことがよかったです。



たことがよかったです。しかし、私の最終目標はオリンピックで金メダルを獲得ことです、一つひとつゆっくりでもいいから、自分らしい柔道で、目指していきたいと思います。

柔道は相手がいれば成立する競技です。練習するときもたくさんの人の助けが必要です。そのため多くの人との出会いがあり、期待してくれる人や応援をしてくれる人もたくさんいます。私は、その周りの人たちのおかげで今日まで頑張ることが出来ました。

【応援される人間になれ】これは私がいつも心に持っている言葉です。自分の中の秘めた力は無限大かもしれません。しかし、自分の力だけでは、それを発揮することは出来ません。周囲の方の支援で、さらに自分を高めることが出来ると思うので、感謝を忘れず、応援したいと思える人になるよう柔道に対しては勿論のこと、日々の行動を意識して生活しています。

4月からは大学生活が始まります。新しい環境でも自分の信念を貫き、周りから【やっぱりなるは凄い】と思ってもらえるよう、毎日を楽しんでこれからも精進します！

**県柔連ホームページが
リニューアルします!!**

県柔連ホームページがスマートフォンでもタブレットでも見やすいようになります。

今まで通り大会要項・大会結果はもちろん、県柔連だよりや各種ひな形も容易に取り出せるよう機能的にも使いやすくリニューアル予定です。